＼ 公開講座＆見学会開催報告 ／

あだちの里では 8 月に「障がい者のライフステージ＆福祉サービスについて」をテーマに公開講座を開催いたしました。猛暑の中、参加して下さいました皆様、ありがとうございました。その内容を基に、今回はライフステージにおいて障がい児・者が利用できる福祉サービスやその内容についてご紹介します。

ライフステージとは、人生の節目となる出来事により区分される生活環境の段階を指します。それぞれの段階に特定のニーズや課題が存在し、その時期に適切なサポートや対応が必要になります。障がい者のライフステージの中では、特別支援学校等卒業後の 18～30 歳の成人期が最も成長する時期となり、あだちの里ではこうした方たちをサポートさせて頂いています。この時期は進学や就労、生活介護、就労継続支援、短期入所などの障がい福祉サービスの利用や日中一時支援などの地域生活支援事業を通じて、学生時代に経験できなかったことを経験し、多くの人たちと関わることで成長に繋がっていきます(※一部の事業は児童期にも利用可能)。その後、30 年以上ある壮年期・高齢期に自立した生活を送るためにも社会資源を有効的に活用し、社会との繋がりを持つことが大切になるのです。

下表は、各ステージにおいて利用・活用できる社会資源になります。足立区内では社会福祉法人、NPO 法人、株式会社など様々な形態の団体が福祉サービスを提供しています。その中からご本人が成功体験できる、ニーズに合った事業や事業所を見つける必要があります。SNS 等でもたくさんの情報が溢れていますが、選択する際には自らの目で見て、直接話を聞くことをお勧めします。事業所の特徴を出すために、それぞれの事業所が様々な活動や取り組み、行事等を工夫して実施していますので、是非見学や体験をしてみてほしいと思います。

一人ひとりが自分らしい人生を送れるように、各ライフステージの段階に応じてサポートしていくことが大切です。ご家族、支援者、地域、その他関係機関が連携しながら、その時期に合わせたサポートや社会資源の活用をしていけるように、あだちの里でも引き続き取り組んでまいります。

常務理事　宮崎　智昭

障がいのある方のライフステージごとのサービスマップ

	0歳～	3歳～	6歳～				18歳～	20歳～	30歳～	65歳～
	幼児期		学童期		思春期	青年期	成人期		壮年期	高齢期
通う			普通学校	小学校 特別支援学級	中学校 特別支援学級	高等学校	通学(大学・専門学校)／就労			介護保険
			特別支援学校				日中活動	生活介護		
			放課後等デイサービス事業所					自立訓練(機能・生活訓練)		
								就労移行支援		
								就労定着支援		
								就労継続支援A型		
								就労継続支援B型		
								地域活動支援センター		
		日中一時支援								
訪問	地域生活支援事業	移動支援								
暮らす	障害児入所支援施設						施設入所支援			
							共同生活援助			
短期利用	短期入所（ショートステイ）									

あだちの里 法人ニュース

秋号　No.89

令和５年　10月　吉日

社会福祉法人あだちの里

〒121-0813

東京都足立区竹の塚七丁目 19 番 7 号

TEL 03（5831）1721

FAX 03（5831）1720

HP：https://a-sato.or.jp/

第 89 号　ご案内

1P
・公開講座＆見学会開催報告

2P
・あだちの里×SDGs

3P
・水害時想定避難訓練

4P
・2024 内定式実施報告について
・法人全体人権研修
実施報告について
・あだちの里後援会について

あだちの里×SDGs

社会福祉法人あだちの里は事業活動を通じた SDGs の目標達成をめざしています。現在、取り組んでいる活動についてご紹介いたします♪

8 月 22～25 日に足立区役所で行われた地域交流展示会にて、取り組み内容を掲示いたしました。

7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに

節電対策 ＆電気自動車

エネルギーを大切にということで、施設館内のエアコン適正温度管理や使用していない居室やトイレ等の照明の消灯などに取り組んでいます。一部の施設では節電を意識できるように電気使用量を伝えて呼びかけを行っています。また電球を LED に切り替え、エコ対策も行っています。

気候変動対策として新規購入車両を電気自動車へ切り替え、二酸化炭素（CO2）の低減に繋げていきます。第 1 号となる電気自動車が 10 月末に納車予定です！！

11 住み続けられる まちづくりを

グリーンカーテン ～けんちゃんの朝顔～

今年の夏は暑い日が続きました。あだちの里の施設では、足立区より「けんちゃんの朝顔」という種をいただき、今夏は朝顔のツルで直射日光を遮り、室内温度上昇を抑える活動をしました。ご利用者も毎日水やりを楽しそうに取り組まれ、朝顔の成長を一緒に見守りました♪ツルが日陰となり、日差しの軽減に繋がりました。地球に優しいグリーンカーテンです！

13 気候変動に具体的な対策を　9 産業と技術革新の基盤をつくろう　6 安全な水とトイレを世界中に　15 陸の豊かさも守ろう

16 平和と公正をすべての人に　10 人や国の不平等をなくそう　12 つくる責任 つかう責任　5 ジェンダー平等を実現しよう

3 すべての人に健康と福祉を

ペットボトルキャップ回収 ～世界の子どもたちへ～

1 貧困をなくそう

まず身近に始められる活動として全施設でペットボトルキャップ回収を積極的に取り組んでいます。ペットボトルキャップ 2 kg分がワクチン 1 本になります。ご利用者と一緒にワクチンになるまでの経過動画を視聴したり、ご家族向けに協力依頼の手紙を配布するなど、職員・ご利用者・ご家族と一緒に取り組んでいます。

4 質の高い教育をみんなに　2 飢餓をゼロに　8 働きがいも経済成長も　14 海の豊かさを守ろう

17 パートナーシップで目標を達成しよう

あだち SDGs パートナー 登録

足立区と一緒に持続可能なまちづくりに向けて動き出すため、登録をしました。現在取り組んでいる活動を継続し、「誰一人取り残さない」を原則に誰もが笑顔で暮らせる社会の実現を目指します。

あだちの里では【3 すべての人に健康と福祉を】を注力するゴールとして活動をすすめ、新たに取り組める活動を考えていきます！

しゃかいふくしほうじんあだちのさと
社会福祉法人あだちの里

形態 社会福祉　業種 障がい福祉サービス

方針 「障がい者が地域と共に　笑顔で生活できるよう　私たちは応援します」これが当法人のミッションです。自分の生き方を自分で決め、必要な支援を自分で選び、地域の人たちと交流しながら、笑顔で生活する。誰もがそんな生活を実現するために、私たちは行動しています。社会福祉法人あだちの里は、SDGs「誰一人取り残さない」という原則は、私たち社会福祉法人の使命と共通するものと捉え、誰もが笑顔で生活できる社会の実現を目指し、SDGs活動を積極的に取り組んでいきます。

注力するゴール 3

水害時想定避難訓練

2019 年の東日本台風を教訓にグループホームのバックアップとして災害時等対応職員を選出し、7 月には夏号でご紹介しました普通救命講習の受講を行いました。9 月には今年度で 4 度目となる水害時想定避難訓練を行い、新型コロナウイルス感染症発生後初めて、ご利用者を含めて実施しましたのでご紹介いたします。

当日の流れについて

1.職員出勤・出動

災害時対応職員が担当のグループホームに迎えにいきます。

2.グループホーム到着 ～ 避難所施設に到着

避難誘導を行い各避難施設へ向かいます。
避難施設到着後は、ロビーで受付と検温を実施しました。

«ご利用者の様子»

昨年までは、訓練当日に対応職員がグループホームへ出向き、点呼のみの訓練でしたので、“職員が迎えに来る”という認識はしているご様子でした。実際に避難所となる各施設に移動するのは、今回初めてだったこともあり、戸惑われている方も多くいたように感じます。その反面ヘルメット、災害リュックを持ちしっかりと避難準備をしているご利用者の姿も見られました。

3.各避難所施設へ到着後～待機

受付後は 2 階以上の部屋へ男女別で誘導をしました。
避難誘導後、訓練について説明をし、大雨による川の氾濫等で避難が必要になった際に、避難勧告ガイドラインの警戒レベル 3 にあたる「高齢者等避難」が発令後、各グループホームへ対応職員が迎えに行き、避難施設で過ごすことを再度説明しました。

«ご利用者の様子»

慣れない初めての施設に困惑されるご利用者や、外出気分で施設に避難されてきたご利用者の方も中にはいました。少しずつ災害への意識が持てるように今後説明や訓練を引き続き継続していきます。

4.解散

各グループホームへ帰寮します。

訓練当日を迎えるにあたり、グループホームのご利用者には事前に趣旨を伝えた上で訓練に臨んでいただきました。ご利用者の中には初めてのことに取り組む時に戸惑いや不安を感じる方が多いため、落ち着いて参加できるよう毎年訓練を実施する際には、事前に説明をしています。訓練を繰り返し、動きを確認することで少しずつですが、ご利用者一人ひとりの経験として積み重なっていきます。起きないことが一番ですが、有事の際には、この経験を生かして、少しでも落ち着いてご利用者が行動できるように今後も訓練の機会を設けていきたいと考えています。

2024 内定式実施報告について

10 月 2 日(月)に 2024 内定式を執り行いました。晴天にも恵まれ、16 名の方が緊張感ある会場の中で、理事長より内定証書を授与され、内定者となりました。式後は皆さん安心されたのか、少し表情が和らいだように感じました。これから 4 月の入職に向けて、オリエンテーションを重ねながら 16 名と共に社会人への準備をしていきます。

法人全体人権研修実施報告について

先日、毎年開催している人権啓発委員会主催の職員全員を対象とした法人全体研修をオンラインで実施しました。今回は『支援における合理的配慮の理解』について講師として弁護士を招き、お話を伺いました。障害者差別解消法の合理的配慮について、事業所での合理的配慮が令和 6 年 4 月 1 日から「努力義務→**義務**」へ変更になる点と、改めて合理的配慮とは何かということも含めて職員全員で学びを深めました。ご利用者支援を行う上で、人権尊重・擁護をすること、安全安心に過ごせる環境を作ることが大切です。そのためには職員一人ひとりが人権について意識を向ける、学び続けることは欠かせないことだと感じます。その他にも個人情報保護についてやハラスメントなどをテーマに職員全体研修を実施するための準備を進めています。これからも職員の質の向上のため学びの機会を提供していきます。

あだちの里後援会について

あだちの里が運営する施設等の円滑な経営と充実並びに施設利用者の地域社会における社会参加と自立を促進するためにご支援いただいています。日頃からありがとうございます。

3 つの後援会

綾瀬後援会、竹の塚後援会、谷在家後援会の 3 つの後援会があります。

ご賛同お願いいたします

特別会員：1 口　10,000 円　　一般会員：1 口　　2,000 円

※ご賛同いただける場合は、下記の受付窓口までご連絡をお願いいたします。

【お問い合わせ】

綾瀬後援会　会長　大池　勝巳	**竹の塚後援会**　会長　國井　幹雄	**谷在家後援会**　会長　浅香　孝子
受付窓口　綾瀬ひまわり園	受付窓口　竹の塚ひまわり園	受付窓口　谷在家障がい福祉施設
連絡先　03（3629）3231	連絡先　03（5831）1721	連絡先　03（3853）0632

あだちの里のホームページに申込書を掲載しています！
皆様のご入会をお待ちしております！